

= 準備

マシンを起動する。

ログインする。  
アカウント名、パスワードは別途。

テキストエディットを起動する。  
画面右上の虫眼鏡ボタンを押して、入力欄に「テキストエディット」と入力する。表示されたテキストエディットをクリックする。

テキストエディットを操作  
メニューの「テキストエディット」を押し、「環境設定…」を選択する。  
新規書類タブのフォーマットから標準テキストを選択し、下部のオプションのルーラを表示以外のチェックをはずす

Dock（画面下部のアイコン群）の右部分にあるテキストエディットのアイコンを長押しする（アイコンを押してしばらくそのままにする）と表示されるメニューから[オプション]-[Dockに追加]を選択する。

ターミナル（Windowsではコマンドプロンプト）を起動する。  
画面右上の虫眼鏡ボタンを押して、入力欄に「ターミナル」と入力する。表示されたターミナルをクリックする。

ターミナルで以下のコマンドを実行する。  
sudo dscl localhost -append /Local/Default/Groups/rvm GroupMembership root  
(実行すると以下のようにパスワードを入力するように画面表示がでるので、ログインしたときのパスワードを入力する。)  
WARNING: Improper use of the sudo command could lead to data loss  
or the deletion of important system files. Please double-check your  
typing when using sudo. Type "man sudo" for more information.

To proceed, enter your password, or type Ctrl-C to abort.

Password:

Dockの右部分にあるターミナルのアイコンを長押しすると表示されるメニューから[オプション]-[Dockに追加]を選択する

画面左上のAppleマークをクリックして、「システム環境設定…」を選択する。  
システム環境設定のセキュリティとプライバシーを選択する  
一般タブのダウンロードしたアプリケーションの実行許可のすべてのアプリケーションを許可をチェックする。すると本当にしてもいいかというダイアログが表示されるので、すべてのアプリケーションを許可ボタンをクリックする。

ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:

- ☐ Mac App Store からのアプリケーションのみを許可  
☐ Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可  
☒ すべてのアプリケーションを許可

ここでいったんマシンを再起動させます。

RailsInstallerをインストールする。  
<http://railsinstaller.org>にアクセスして、Mac OSX 10.7 & 10.8用のインストーラをダウンロードする。

## Mac Downloads



Mac OSX  
10.7 & 10.8

Packages included are

Ruby 1.9.3-p392

ダウンロードフォルダのRailsInstaller-1.0.4-osx-10.7.app.tarをダブルクリックして開く。すると、同ディレクトリにRailsInstaller-1.0.4-osx-10.7というファイルができるので、それをダブルクリックして開きます。

インストーラの指示に従ってインストールします。インストーラの言語は日本語を選択して、途中ででてくる入力欄にはなにも入力せずに次へボタンを押します。  
(インストールには時間が15分程度かかります。)

Xcodeをインストールする。  
AppStoreを起動する  
Xcodeを検索する  
Xcodeをインストールする。無料だが、Apple IDが必要です。  
1.5GBのファイルをダウンロードする。時間がかかる。

Xcodeを起動する。  
メニューの[Xcode]-[Preference…]を選択  
DownloadsタブのComponentsタブを選択  
Command Line ToolsのInstallボタンをクリック  
(インストールされるまでしばらく待つ)

ターミナルで以下のコマンドを実行して、r2d(高尾が修正したバージョン)をインストールする。  
gem install r2d-takaokouji

Arduino IDEをインストールする。  
ブラウザで <http://arduino.cc/en/Main/Software> にアクセスしてMac OS X用のインストーラをダウンロードする。ここでは10.5をダウンロードしたことを想定。

## Download

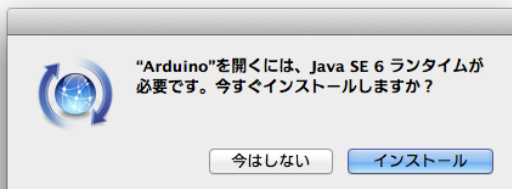
Arduino 1.0.5 ([release notes](#)), hosted by [Google Code](#):

- ✦ [Windows Installer, Windows \(ZIP file\)](#)
- ✦ [Mac OS X](#)
- ✦ [Linux: 32 bit, 64 bit](#)
- ✦ [source](#)

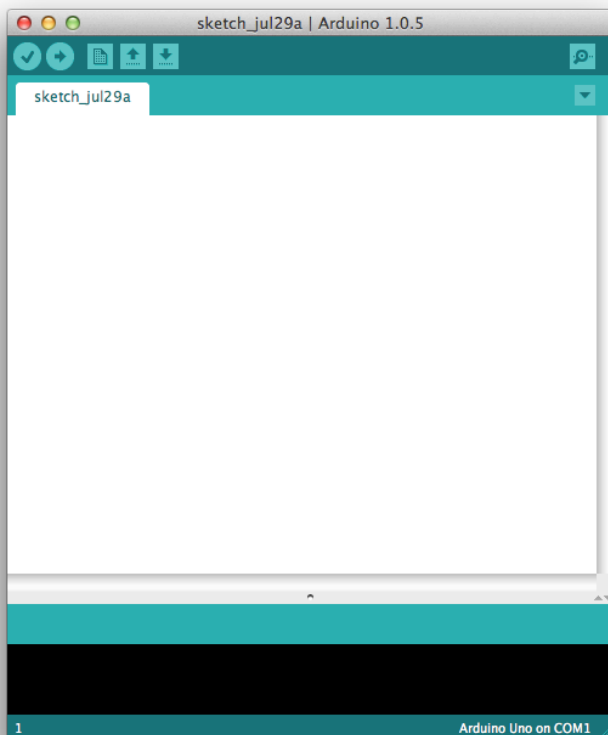
ダウンロードフォルダにダウンロードしたArduinoをアプリケーションフォルダに移動する。

Arduinoをクリックして開く。

すると、次のダイアログが表示されるのでJava SE6のインストールをする。しばらくすると、インストールが完了する。



アプリケーションフォルダのArduinoをクリックして起動する。起動できることを確認したら終了する。



ArduinoをRubyから利用するためのdinoをインストールする。コマンドプロンプトで以下を実行する。  
`gem install dino`

動作確認をする。コマンドプロンプトで以下を実行する。

```
cd ~/Documents
git clone https://github.com/smairuby/ruby-school-mjh
cd ruby-school-mjh
ruby mac/kadai/no1/no1.rb
```

(これにより、画面にHello Worldと表示され、アニメーションが描画されること)

(中学生Ruby教室の当日にターミナルで以下のコマンドを実行して資料をアップデートすること)

```
cd ~/Documents/ruby-school-mjh
git pull --rebase
```